

川流域では、ムロウテンナンショウが、本種と近接してはえていてまぎらわしいので、本誌では学名にちなんだキシダママシグサとした。本種は武庫川流域では極めて少ない。また、改訂・兵庫県レッドデータブック（RD）ではCランク種に指定されている。

観察記録

<データ> 種名（仏炎苞の色）、個体数、産地、年・月・日 の順に記載。末尾の番号は図2の分布図中の番号と相応する。

- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数（写真1）三田市藍本越良山 2005. 4. 29 ①
- ・コウライテンナンショウ（紫褐色）多数（写真2）西宮市塩瀬町・宝塚市大原野武田尾
武庫川溪谷左・右岸 2006. 4. 22 ②
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数 篠山市住山白髪岳山麓 2006. 4. 30 ③
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数 神戸市北区鎌倉峡 2006. 5. 5 ④
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数 三田市藍本越良山 2007. 5. 3 ①
- ・キシダママシグサ（紫褐色）数株 三田市藍本越良山 2007. 5. 3 ⑤
(①の生育地よりも谷川のさらに上部)
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）2株 三田市乙原黒川溪谷源頭 2007. 5. 4 ⑥
- ・キシダママシグサ（紫褐色）3株（写真3）三田市乙原黒川溪谷源頭 2007. 5. 4 ⑦
(⑥よりも少し上部に生息)
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数 神戸市北区道場町水久野 2007. 5. 26 ⑧
- ・コウライテンナンショウ（緑色）数株 大阪府能勢町天王川 2007. 6. 3 ⑨
- ・ムロウテンナンショウ（淡緑色）多数 篠山市後川春日大社 2007. 6. 3 ⑩



写真4 ムロウテンナンショウの果実
三田市藍本越良山 2006.9.18

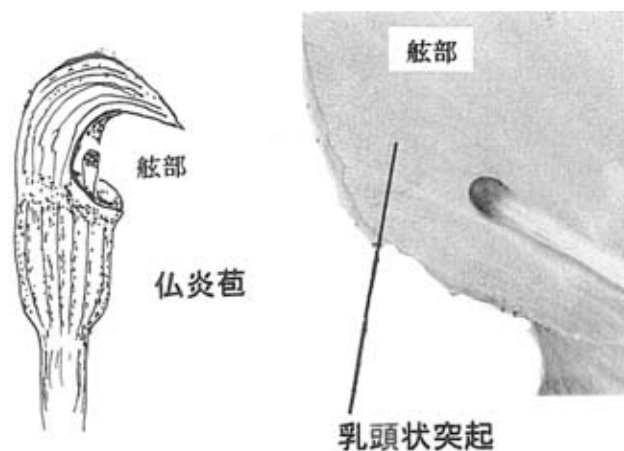


図1 ムロウテンナンショウの細部

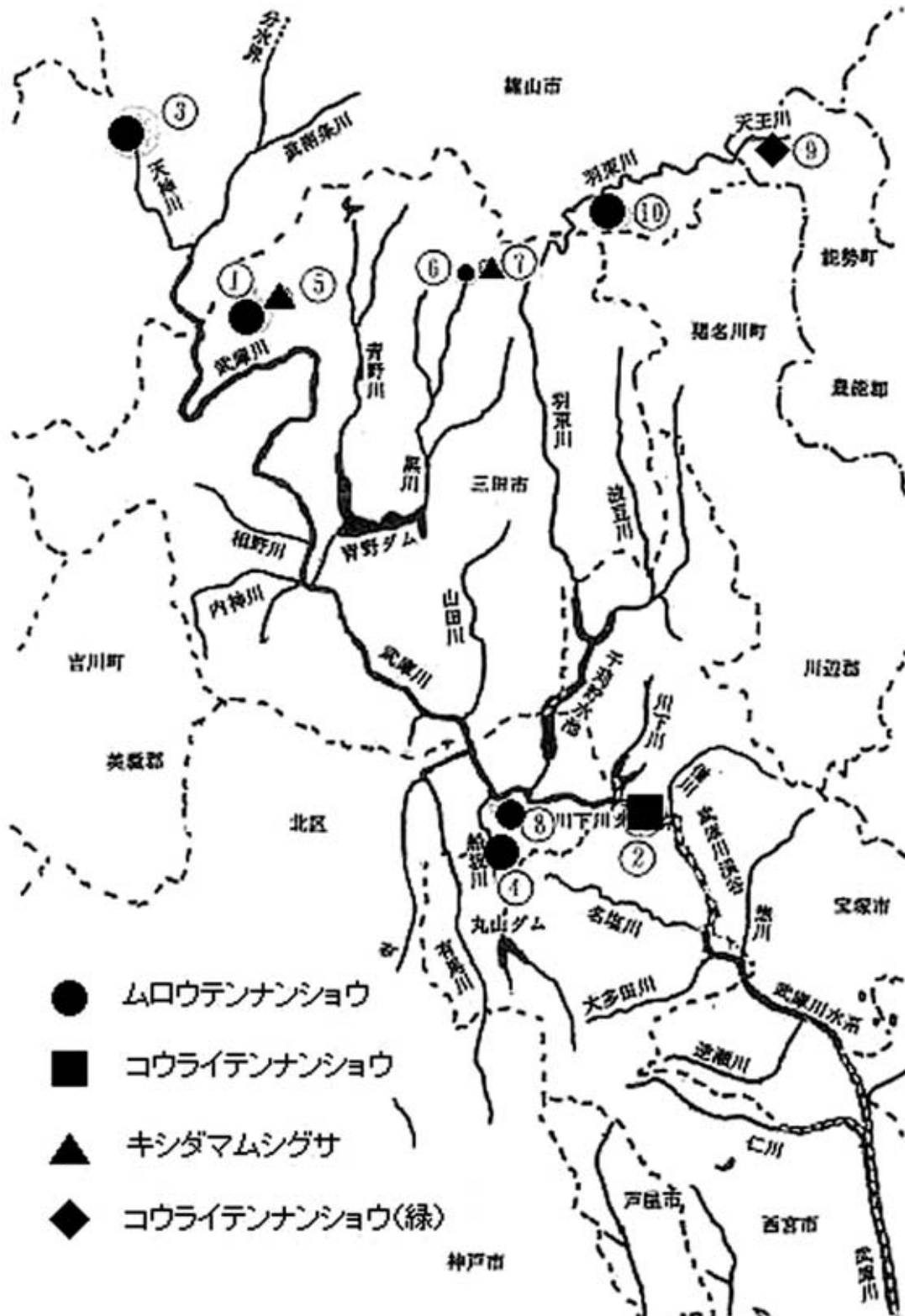


図2 武庫川流域におけるテンナンショウ属の分布

調査の概要と考察

調査の概要として大きく次の3点を述べておきたい。

- (1) ムロウテンナンショウは武庫川流域に広く分布し、その産地では個体が多い。
- (2) コウライテンナンショウは武庫川溪谷では紫褐色花が多くみられた。また、大阪府能勢町天王川では緑色花の個体が生育している。
- (3) キシダママシグサは、三田市藍本越良山、三田市黒川溪谷源頭にみられたが、いずれも個体数は極めて少い。その生育地のいずれも下部にムロウテンナンショウがみられた。では、それぞれの種の生育環境はどうか。その答えはまだみつからない。(3)で述べたキシダママシグサはムロウテンナンショウより上部のやや乾燥した場所で棲み分けているように思われる。まだ未調査の地域も多いので、今後の調査に期待したい。

まとめ

武庫川流域で、3種のテンナンショウ属の分布を確認した。その3種は、ムロウテンナンショウ、コウライテンナンショウ、キシダママシグサである。

<参考文献>

- 1) 法西浩(2005)「フィールド・レポート」三田市藍本越良山の山小屋を訪ねて(2)、武庫川第34号 21世紀の武庫川を考える会 発行。
- 2) 法西浩(2006)「フィールド・レポート」武庫川流域に生息するママシグサあれこれ、武庫川第37号 21世紀の武庫川を考える会 発行。
- 3) 兵庫県県民生活部環境局自然環境保全課編集(2003)改訂・兵庫の貴重な自然－兵庫県版レッドデータブック2003－、(財)ひょうご環境創造協会 発行。